



ショートステイに求められる事と果たせぬ事と

～新規の方のお問い合わせから～

沢山のゲストの方々にご利用して頂いてきたお陰で、ショートステイ事業の継続ができております。誠に有難う御座います。

その本来の役割は、一時の避難所です。しかし、時には憩いの場であったり、又、新しいプログラム活動の場であったりもします。

障がいを持つ方々と共にありたいと願う者としても、使命感だけではなく喜びも感じさせてもらえる大切な場所です。

毎週のように新しい方々から、お問い合わせや利用のお申し込みを頂きます。高槻市内だけではなく、他市からもあります。ご本人や保護者(代理人)の方からだけではなく、行政の担当ワーカーや相談機関の方からもあります。

いくつもあるショートの中から、前穂ショートにお問い合わせを頂く訳ですから、誠に有難いことだと感じています。しかし反面、私共の非力を思い知らされることもあります。

最近のお問い合わせから事例をひとつ紹介させていただきます。

他市の児童のお母様からでした。『近々、お母様が子供会の役員で忙しくなるので、その頃に宿泊させたい。それに先立って、日中体験もさせたい…。』というもので、私共の評判をどうお聞きになられたのか、お母様のお声には期待感が感じられました。

しかし、ご要望の「専用の居室と、常時1対1対応」はご提供が難しいとお伝えせざるをえませんでした。そのお母様は、たいへん意気消沈されたご様子で、電話をされました。

前穂では、高槻市の方と同様に他市町村の方もお受けしております。又、新規の方の受け入れも、事業開始いらい、中断したことはありません。

「新規の方の受け入れは、たとえ現状の登録者で定員超え状態であっても、停止してはいけない」というのが行政指導でもあります。

結果、何がおこるかという、事業者と利用者の相方が大変な労力を払って「見学・面談・書類作成・契約」等を果たしたとしても、簡単には、あるいはご希望通りには利用枠が取れない、という事がおこります。

前穂通信

まえほつうしん

発行日

2010年7月1日

発行元

自立センター前穂
〒569-1022
高槻市日吉台
1番町21-18
072-689-8600



…沢山の新しいお申し込みに接するにつれ、ショートの実状をお伝えすることの難しさに直面しております。ご提供できそうもない対応をお求めの場合も多く、苦慮するところです。

時に、必要に応じたサービスを提供できない私共に、「福祉職として怠慢である」とのお叱りを頂くこともあり、力不足の自責と相まって、辛い気持ちが残ります。もちろん「利用者には関係がなく、事業者として当然」とのお声を頂くことの意味は理解しております。しかし、そうとも思えない気持ちを抱かざるをえない事もお許し頂きたいです。サービスを必要とされる方々自身も、社会に対して必要を訴え、環境の整備に努めて頂きたいと切に願っております。無論、前穂も共に尽力致します。



環境整備ニュース・続報～6月号でのお報せ後～

- ①外観の見直し:継続中
- ②新・創作室の設置:6月中旬に物置小屋の壁貼り、ペンキ塗り実施済
- ③屋外活動場の設置:6月中旬に芝生の植え込み実施済。ウッドデッキは7月設置予定



退職のお知らせ